

会長挨拶

浦和稻門会々長 辻村大司



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は後世に残る東日本の大震災があり各地に大きな被害を残しました。景気が相変わらず回復が遅れている折に出口を閉ざされた思いでいっぱいです。すべての被災者の皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。母校早稲田大学は「学費減免」と「奨学金給付」による「被災学生支援」学生ボランティアの派遣等「被災地支援」、「災害復興と防災に関する研究の助成」を三つの柱として支援を講じております。私達も手を携いていては元気な日本の回帰は不可能です。この重圧を跳ね返し前に向けて努力をして行きたいと思います。過去を振り返れば日本の歴史上大きな災害を何度も受けたそれを乗り越えて明るい社会を築いてきた先人に学んで努力を続けたいと存じます。

浦和稻門会では平成二十三年五月の「定期総会」に於ける日本陸連理事・瀬古利彦氏の講演で逆風の時困難に立ち向かう勇気を学びました。今こそ先人が残した早稲田の基本十箇条〈1〉校歌を歌う〈2〉地域に貢献〈3〉余暇を楽しむ〈4〉イベントに参加〈5〉新しい出会い〈6〉早慶の交流〈7〉うま酒を飲む〈8〉スポーツを応援〈9〉知的に向上〈10〉後輩を応援早稲田の精神を!

多くの新会員を加えた「ゴルフ部会」をリーダーとする専門部会を通じ会員の皆様との交流と親睦を図ってまいります。

最後に昨年12月21日「急性くも膜下出血」により当会会計監査荒井重隆(S43法卒)が急逝されました。享年六十七歳、早すぎる別れで誠に「残念で」…「当会」へのご尽力に感謝いたし皆様とご冥福をお祈りしたいと思います。今年もご支援ご協力お願い申し上げます。



佐藤浩司氏

浦和稻門会 総会のご案内

平成24年5月12日(土) 会場 浦和ワシントンホテル3Fプリムローズに於いて
受付開始 16:30 開式・17:00 会員の皆様の参加をお待ちしています。

* 講演 佐藤浩司氏 大正14年3月6日生(87才)

浦和稻門会元会長 S17年4月 第二高等学院入学 S21年 商学部卒

テーマ「戦前の 早稲田」

時代をつくり歴史を刻む早稲田キャンパス そこには早稲田しかない時間と空間が流れています。

戦前の諸先輩の歩みを学び
新しい文化を育みましょう。

学徒出陣〈S.18.12月〉

最後の早慶戦〈S.18.10月〉

戸塚球場

早稲田練成道場〈東久留米〉

恩賜記念館 甘泉園等

先輩の貴重な体験談の歴史です。



23年 総会 出席者

浦和稻門会会報

No10
平成24年4月
発行人
浦和稻門会
事務局 金子裕司
TEL (861) 3445
FAX (861) 3445
〒330-0065
さいたま市浦和区
神明 2-13-10

平成23年度 事業報告

平成23年

幹事長 山本裕二



4月16日(土) 会計監査 荒井重隆監査

綱川絢子監査 金子裕司幹事長

4月24日(日)~25日(月) 浦和稲門会旅行部会春季旅行
東日本大震災のため中止

5月10日(火) 浦和(さいたま)市東京六大学ゴルフ役員会

5月12日(土) 埼玉県支部役員会

於 川口リリア柏会長 辻村副会長

5月28日(土) 定期総会 於 ワシントンホテル

6月3日(土) 第36回浦和稲門会ゴルフコンペ
(於 J ゴルフ鶴ヶ島) 19名参加

6月11日(土) 第20回 麻雀大会

6月21日(火) 六大学幹事会

6月25日(土) 第1回役員幹事会

定期総会収支報告・稲門会

8月20日(土) 第21回麻雀大会

9月28日(土) 第37回浦和稲門会ゴルフコンペ
(於 プレジデントカントリー) 25名参加

10月15日(土) 第2回 役員・幹事会

10月15日(土) 第22回 麻雀大会

10月16日(日) ホームカミングデー・稲門祭

11月5日(土) 早稲田大学校友会埼玉県支部大会

幹校 深谷稲門会

11月11日(金) 浦和(さいたま)市

東京六大学ゴルフコンペ

幹事校 明治大学・於 大宮国際ゴルフクラブ

12月7日(水) 第38回浦和稲門会定例ゴルフコンペ
(於 東武藤が丘カントリークラブ)

12月7日(水) 浦和稲門会 忘年会 於 割烹 千代田

12月17日(土) 第23回 麻雀大会

平成24年

1月14日(土) 浦和稲門会新年懇親会

於 浦和ロイヤルパインズホテル

2月18日(土) 第24回 麻雀大会

3月10日(土) 第3回 役員幹事会

3月15日(土) 第39回 浦和稲門会定例ゴルフコンペ

於 筑波東急ゴルフクラブ

5月12日(土) 浦和稲門会定期総会

於 浦和ワシントンホテル

新人紹介



萩原 千和子さん



小林 淳さん



安川 健さん

会員報告

『北浦和地区

大運動会』
を企画中



大野さやか氏

2003(平成15)年 法学部卒の大野さやかです。浦和区領家在住です。

現在学長の鎌田教授ですが、4年間を通して唯一不可を頂戴した『鎌田物権』といえば、とても思い出深いです(笑)。学生時代はオール早稲田のサークルに所属していましたが、在学中は早稲田祭が休止していたこともあり、早稲田らしいことは何一つできなかったなあと後悔も。現在はメーカー営業をしていますが、地域の活動ばかりしています。地元では北浦和消防団に所属し、自治会の防災訓練や小学校の授業などの手伝い、地元で火災が発生すれば昼夜問わず駆けつけます。好奇心旺盛で『やらずに後悔するより、やって経験しろ!』精神で様々な活動をしていますが、現在は、世代を超えた地域コミュニティの強化を目的とした『北浦和地区大運動会』を企画中です。準備が間にあえば5/20(日)に、県立浦高にて開催しますので、ぜひご参加ください。浦和稲門会でもお手伝いしますので、よろしくお願ひいたします!

大野さやか

自動車に関する思い出



萩原 弘道氏

車へのあこがれは小学生の頃からで、叔父が愛車で我が家に来ると、排気ガスが何とも言えない心地よい臭いだと感じ、車の後に付いて廻ったことが思い出されます。私は群馬の赤城山麓で幼少期から大学入学までを過ごしましたが、車などはめったに走って来ないような土地柄でした。小学5年の時のバスによる東京遠足も想いで深いものです。上野動物園や皇居の二重橋などを見学した訳ですが、当時のバスは木片を燃料としており、休憩の度毎に運転手が車の後ろにある円筒形の筒の中へ木片を投入する作業をしておりました。私はこれが興味深く「おじさん僕も手伝うよ」と言って手伝いをし、これをきっかけに運転手と仲良くなり、地元へ帰ってからは小学校からの帰り道の私を見つけるとバスを止めてくれ「おい、乗っていけ」と乗せてくれたものです。その頃は大人になったら、バスの運転手になろうとあこがれておりました。大学へ入ると直ぐに自動車部へ入部した訳ですが、思い描いていたのとは大違いで、車洗車、パンクの修理、整備の手伝い、腕立て伏せ、腹筋ランニング等ばかりで、なるほど自動車部は体育局に属している訳だと納得したもので、運転席に座れたのは夏の軽井沢合宿からです。合宿では車の運転が終ると運転操作の失敗の数だけ、一周400m位のグラウンドを走らされるわけですが、一度の運転で10周位はざらで、一日に100周以上走った様に思います。私は3年の時に車両委員となり運輸省の自動車整備認定工場の指定を取り、車検などの法的整備なども自動車部の名前で出来る様になりました。当時部には大型バスや大型トラック、乗用車など30数台の車があり、車検整備やエンジンのオーバーホールなども自分達で実施しました。私も3級自動車整備士のシャーシー、ガソリン、ジーゼルエンジンなど3部門の免許を取得致しました。2年生の時の大坂遠征の帰りには箱根峠が季節外れの大雪で、車はスリップして進めず、トレパンとトレシャツで寒さに震えながらトラックや乗用車を押し、雪の中から脱出し、熱海廻りで帰京したこともありました。ケネディ大統領が暗殺された時は我が部初めて欧州遠征に言った仲間を岩国港迄出迎えに行く途中の早朝4時頃「アメリカのケネディ大統領がダラスで暗殺されました」との衝撃的な臨時ニュースに驚きました。この帰途大坂で行われていた全日本学生自動車運転競技（フィギア）選手権の試合会場へ廻り、応援してから帰京したのも、若かったから出来たことだなと思い出しております。因みに、この試合で4年後に縁有って結婚することになる当時3年生の家内（千和子）が小4部門で優勝しました。私は昨年古希を向かえましたが、車との関わりはまだ末永く続けて行きたいと考えております。古希を迎えたと言うことは、五木寛之氏の提唱する「遊住期」に入ろうという、正に人生の黄金期にいることであり人生のクライマックスな訳で、人生を楽しみ、より良き生きて行きたいものと考えておりますので、よろしくお願ひ致します。

昭和39年 体育局自動車部卒業 萩原弘道

浦和での生活



萩原 千和子氏

私は、老後はシンプル・快適な生活を求めて六年前に戸建の家から、本太のマンションへ転居してきました。我が家は二階ですが、傾斜地ですのでテラスと専用庭が25m²ずつあり園芸を楽しんでいます。入居後同世代の方と《お花の会》を立ち上げ、管理組合からはささやかですが予算を計上され若いママ達と活動しています。マンション敷地内に四季折々お花を植え、ホールにはお正月・節分・桃の節句・端午の節句・中秋の名月・新しくはハロウィン・クリスマス・母の日等の室礼（しつらい）を設置しています。居住者の子供達にも、日本古来から伝わる季節のしきたりを伝承し、情操教育の一環になればとの思いからです。又、子供達はお花の植え替え、花殻摘み、お水遣り等のお手伝い、又お花の名前を覚えたりお花を愛でたり等々で、情緒豊かに成長してほしいと念じて居ります。私自身も、若い方々との交流で元気を戴いて居ります。《浦和稻門会》でも、お付き合いよろしくお願ひ致します。

新入会員 萩原千和子

今から これから



栗又 康史氏

私の早稲田との出会いは、約30年ほど前に遡ります。早稲田の自由な校風に憧れ、早大本庄高等学校に入学して以来、今まで多方面で活躍される諸先輩方の姿を拝見しながら、果たして今、自分の歩んできた道とこれからはどうあるべきか、テロ・リーマンショック・大震災・原発事故・円高と激動する時代に、丁度、自分の人生に自問自答を繰り返していた頃、浦和稻門会からの入会のお説をいただきました。

生まれは宮城県仙台市。かの青葉城恋歌で有名な広瀬川で父親に連れられてハゼ釣りをして以来、海川問わず各種釣りを楽しむほど、釣りを生來の趣味としてきましたが、今では釣行回数も年数回に減り、30歳を過ぎた頃から徐々に始めたゴルフに魅せられ、ゴルフが第二の趣味となっています。浦和稻門会では、右も左もわからない状況ですが、ゴルフ部会に参加させていただくことになり、ゴルフというスポーツを通じて人生の先生と仰ぐような大先輩方と、時と場を新たに共有できることになり大変感謝しています。「都の西北」を声高らかに歌い初心に帰り、浦和稻門会での交流を通じて、深みのある有意義なひと時をこれから的人生に加えていけたら幸いです。

1990年(H02年) 理工学部卒 栗又康史

紙上をお借りし、自己紹介させて頂きます。

新会員の
小林です



小林 涩氏

昭和43年理工学部応用化学学科を何とか留年せず卒業し、旧大宮市にある光学機器メーカーに就職しました。その会社を選んだ理由は3つありましたが、一番は自宅から徒歩15分の近さでした。この選択は、体力的にも時間的にも有利で、後の人生を豊かにしてくれました。また不謹慎と思われそうですが、在職中は仕事に8割、定年になっても楽しめる趣味に2割の時間配分を心掛けました。但し、会社の門を入ると仕事に本腰を入れ、全力投球をしました。これホント!!(笑)……と言う訳で、現役時代でも趣味に力を入れることが出来ました。特に力を入れたのは皐月盆栽・書道・陶芸・ゴルフ(約25年前に止めましたが今でも浦和GCの会員)。それから自慢の話をしますと、盆栽は全国皐月盆栽展で最優秀賞を受賞、書道は日本教育書道連盟の師範及び審査員の資格を取得、陶芸は自分の盆栽に使う鉢作りを習得しました。現在も一生の趣味として楽しんでいます。

仕事は生涯現役をモットーに現役時代の培った知識や技術を活かして、国内3社・海外1社の技術アドバイザーをしています。役に立った時、「ありがとう。」と言われるとやり甲斐を感じます。また平成20年に宅建主任者の資格を取り、自分の物件の管理や知り合いの不動産屋の手伝いをして、趣味に仕事に歳相応ですが、女房に「亭主は元気で留守番がいい」と言われないよう活動しています。この度、綱川御夫妻に勧められ、初めて新年会に出席しました。そこで稻門会の皆様と歓談することができ、これからも稻門会の会員として、親しいお付き合いよろしくお願ひします。

小林 涩

学生時代の
強烈な記憶



野並伸行氏

私の大学時代の強烈に残る記憶は、学生運動の狂気です。中核派と核マル派が隊列を組んで構内を練り歩きゲバ棒で殴り合う戦闘になったことがあります。授業を放り出して2階の窓からまたま見た光景ですが、今も鮮明です。先鋒が崩れた隊形はたちまち逃げ腰になり総崩れです。倒れた敵をゲバ棒で叩きのめし飛んだメガネを踏んづけてグシャグシャにてしまう。そんな光景が今でも浮かびます。先鋒が名誉だった戦国時代と絵が重なり妙に納得した記憶があります。引っ剥がされて投石に使われた商学部事務所建物の石の階段手摺の無残な姿には「えせ」を感じずにはいられませんでした。第2外国語で取った中国語の教科書が赤い表紙の毛沢東語録と言うような時代で、授業にまで無邪氣と狂気のえせ理想主義が感染していたのでしょうか。人の欲を無視した理想主義が一部であれ真剣に語られた時代、今から考えると時代の熱気を感じます。

野並伸行

外国に学ぶこと



森川淳一氏

私は学生時代の卒業旅行をきっかけに、海外旅行が趣味になりました。趣味といっても行先が欧米中心で、費用や期間を要するため、せいぜい5,6年に一度行けるくらいです。次に行くときはパスポートの更新が必要な状況でしたので、その国に詳しいという感じになりました。単に西洋文化に憧れていただけかもしれません。

数年前、たまたま旅行会社のフリーツアーの案内を見て、韓国に旅行しました。ほぼ同じ時期に、中国の現法に出張する機会がありました。今まで海外旅行は欧州に限ると思っていた私にとって初めてのアジア訪問です。アジアといえば日本が唯一の先進国で、他の国はまだ遅れていて、日本人が生活するには不便ではないかと漠然と感じていました。

ところが実際は、高度経済成長期の日本を見ているように道路もビルも建設ラッシュです。街中を歩く人のファッションやショッピングモールは、日本とほとんど変わりません。そして何より驚くのが若者の熱気です。特に中国で感じましたが、彼らは競争社会の中で勝ち残ろうと必死に努力をしています。語学や専門技術を学ぼうとする姿勢には頭が下がりました。そして間違いなく言えるのは、一昨年よりも去年、去年より今年と人も街も間違いなく進歩しています。ついで昭和時代の日本を思い出し懐かしく感じてしまいます。今では憧れよりも懐かしさを感じるために、毎年海外旅行をするようになりました。

森川淳一

ゴルフ部会

平成23年度 (36) j ゴルフ鶴ヶ島 (37) プレジデントカントリークラブ (38)
東武藤が丘カントリークラブ その他に

埼玉東京六大学ゴルフコンペと毎月大勢の参加をいただき感謝しています。

今年度の計画案

- 24年 3月15日(木) 筑波東急ゴルフクラブ
6月 6日(水) ゴールド佐野カントリー倶楽部
9月 2日(日) レイクランドカントリー倶楽部
11月 9日(金) 大宮国際カントリー倶楽部 さいたま市東京六大学対抗戦
12月 6日(木) 星の宮カントリークラブ (忘年会を行います)

当部会長の吉田俊夫氏は御歳85歳になられます。健康第一として日々鍛錬され、ゴルフを楽しんでおられます。我々も見習って元気でゴルフを楽しめる様に努力したいものです。どうぞ皆様ふるってご参加下さい。*昨年は、東京練馬稻門会より第125回記念大会へのお誘いを受け、当会より数名が参加し、野並伸行氏が優勝しました。又、例会の他にも有志で年数回ゴルフ会が実施されており、今年は7月27~28日の一泊二日で群馬県の初穂カントリーに於いて行われます。

参加ご希望の方は、吉田部会長へ (048-443-4321) お申込み下さい。

翼 正典



吉田 俊夫氏



荒井重隆氏(弁護士)

急逝されました ご冥福をお祈り致します



若手 新会員



36回鶴ヶ島ゴルフクラブ



37回プレジデントカントリークラブ



38回東武藤が丘カントリークラブ

麻雀部会

麻雀部会だより

第1回の麻雀大会は、2007年6月に開催され、2012年2月の大会で25回を数えます。第13回より慶應三田会との対抗戦も兼ねて開催しております。当然?稻門会がやや強い。部会は、参加する会員が1人増えれば1人減りの集まり散じて人は変われどという現状です。特段に参加する会員が増えないということに気に掛けることではないと1人肯ずる。兎に角、少しでも交友と楽しい時間(4~5時間)を共有することに意義がある。ということで、遊びと競技(賭けない)ということとしております。さて、麻雀は、34種類136枚の牌で、98,521,596,000通りの和了があるそうです。学生時代から記録しておきましたら(絶対無理)、この大層な数字のどの辺まで近づいていただろうか。麻雀をするからには、和了れなかったらこれほど詰まらないことはない。和了するために、早い聴牌、待ちの多い聴牌、河作り(引っかけ、バラ切り)

などに努めなければならない。また、相手方3人に振り込まないため

には、オカルト打法(ツキや流れを利用してゲームを進める)、他家を高い得点の聴牌とビビらせる打ち方、ブラフといって和了が遅いにも拘わらずいかに聴牌しているような打ち方、ポーカーフェース、くち三味線に留意する必要があります。麻雀していても性格、癖が色濃く反映されるということです。稻門会麻雀大会に参加の交友が、固定化して詰まらないということは、上述のことをもってありえない。詭弁で、是非少しでも多くの交友の参加を心よりお待ちしております。私が大会の記録(簡単なもの)を取っていますが、記録癖ではありません。

「今日は何も書くことがない」と書き始める日記中毒が記録癖の最たるものだそうです。イギリスには、「人は、その生涯において、一本の樹を植え、一軒の家を建て、一人の息子を育てなければならない」という言葉あるそうです。一本の樹は、その人が生きた時間を示すのであり、一軒の家は、その人が生きた場所を示すのであり、一人の息子は、その人が生きた内容を示すということです。この穏やかな情報伝達の方法が一番ということに、私がこれからも卓を囲んで校友と楽しくのんびりと時間を過ごすということに大きな意味付けになっています。

49年 政治学科卒 (参考、思い違い辞典 別役 実著)





新年会の 仲間たち





昨年は、東日本大震災、原子力発電所事故、集中豪雨などによって、広範かつ多数の方々に甚大な被害がもたらされました。被災されたすべての方々に衷心よりお見舞いを申し上げます。震災発生以降、学費減免や奨学金などによる被災学生・新入生への就学支援、平山郁夫記念ボランティアセンターを中心とした被災地への学生ボランティアの派遣、災害復興と防災に関する研究の助成を3つの柱として、大学ならではの支援活動に鋭意取り組み続けています。

東日本大震災と原発事故はまた、科学技術や社会システムのあり方、大学と研究者の役割、さらには私たちの生き方そのものに深刻な反省を迫ると同時に、環境・エネルギー問題など地球規模で解決されるべき問題が想像以上に深刻な段階に達していることなどを痛感させられました。今後、新しい社会のあり方を追求し、次代を担う優れた人材を育成することが、今まで以上に重要になります。

大学に課せられたこの責務を強く自覚し、わが国と国際社会にさらなる貢献を果たしていかねばなりません。また、ますます厳しくなるであろう経済情勢などにも適切に対応し得る安定した財政基盤・運営体制を構築しなければならないと考えております。そこで本学では、創立150周年を迎える2032年を見据えた中長期計画「WASEDA VISION 150」を策定することいたしました。世界に貢献し続ける大学であり続けるために、20年後の早稲田の学生、研究、卒業生の姿を思い描き、その実現に邁進できる体制の整備を提案し、実行して参ります。

早稲田大学第16代総長 鎌田 薫

東日本大震災における大学の取り組み

震災・復興に関する教員による提言や、シンポジウムや講演会の開催情報、平山郁夫記念ボランティアセンター(WAVOC)のボランティア情報など大学の取り組みを「早稲田大学 東日本大震災復興支援室」Webサイト(<http://www.yomiuri.co.jp/adv/wol-fukkou/>)に掲載しています。WAVOCでは2011年4月11日より学生・教職員のボランティアを被災地に派遣、12月にその数は1,700名を超える。炊き出しや泥の撤去作業、清掃のほか、体育部やサークルによるスポーツ指導・音楽演奏も行っています。

被災学生の就学支援として東日本大震災被災学生支援奨学金が新設され、7月に被災学生55名への給付を決定しました。また、被災した2012年度入学志願者を対象に、被災状況によって入学検定料の免除、入学費・学費の減免をします。詳細・申請は入学センター、締切は3月17日(土)まで。

早稲田大学ブックレット<「震災後」に考える> 刊行

被災地域復興支援のための研究や支援プロジェクト等をはじめとする新シリーズ・早稲田大学ブックレット<「震災後」に考える>(早稲田大学出版部)が、2011年11月より順次刊行されています。『拡大する放射能汚染と法規制』『0泊3日の支援からの出発』『災害に強い電力ネットワーク』『災害時にこそ問われる学級経営力』(いずれも税込価格987円)等さまざまなテーマが取り上げられています。「人知を超える」被害をもたらした大震災を見つめ、新たな知の誕生を探索することを目的としたもので、既刊8点にくわえ3月までに11点発行予定です。

【早稲田大学出版部ホームページ】<http://www.waseda-up.co.jp/>
通信販売アマゾン(<http://www.amazon.co.jp>)でも販売しています



東日本大震災 復興支援 早稲田ラベルのお酒のご案内

津波の被害を受けた宮城県気仙沼市・(株)男山本店(会長・菅原雅[気仙沼稻門会会長・酒造稻門会])を支援するお酒を早稲田限定「がんばろう日本」ラベルでお届けします。かろうじて津波から逃れた蔵で震災後初めて造られた「華心」(720ml)1本1,300円、12本1セット単位(送料無料)。お仲間でお取りまとめの上、FAXでお申し込みください。売上の一部は、「早稲田大学早稲田サポーターズ俱楽部」を通じて、被災校友・学生の支援に活用されます。各校友会支部・稻門会の会合の席でお飲みいただくほか、多くの校友の方にご賛同いただき、支援の輪が大きく広がることを期待しております。【早稲田大学校友会・早稲田大学校友会東京都23区支部】

【お問い合わせ】(株)男山本店 電話 0226-22-3035 FAX 0226-22-3037 <http://www.kesennuma.co.jp/>



ホームカミングデー・稻門祭 ご来場＆ご支援ありがとうございます

2011年10月16日(日)、ホームカミングデー・稻門祭が開催され、校友が母校のキャンパスに集い、学生時代を懐古、久方ぶりの旧交を温めました。稻門祭では「校友会NEXT125 変革のキックオフ」をスローガンに掲げ、著名校友が出演、早慶協働で東日本大震災の復興支援として早慶蔵元のお酒を販売しました。また、福引抽選会に先立ち、稻門祭奨学資金の贈呈が行われました。ご協賛、記念品購入等ご支援いただきました皆様に御礼申し上げます。2012年は10月21日(日)に開催予定です。

◆エンジのカードは早稲田の誇り「早稲田カード」結婚式祝電サービス大好評

昨春リニューアルした「早稲田カード」。在学生への奨学金支援も、これまで累計13億5千万円をカード会社から受け入れ、多くの学生が恩恵に浴しています。皆様のご理解、ご協力に感謝申し上げるとともに、引き続きのご支援をお願いいたします。在学生への奨学金支援のために、お持ちでない方はぜひこの機会にご加入をご検討ください。
【早稲田カード ホームページ】<http://tomon.waseda.jp/wasedacard/>



◆ 寄付会員制度「WASEDA サポーターズ俱楽部」申込受付中！

「教育環境整備」「スポーツ支援」「奨学金」ほか各種事業への財政支援のため、年度会員として毎年3万円以上を寄付金として拠出いただく寄付会員制度です。会員の皆様には「早稲田講義録」やオリジナルグッズ送付、中央図書館利用等のサービスを提供します。また、寄付金額が規定額を超えると、本学名誉称号を贈呈して、同俱楽部特別会員に就いていただいております。また、ご遺贈による寄付も承っており、早稲田大学の教育、研究、学生支援に活用させていただきます。

【お問い合わせ】WASEDAサポーターズ俱楽部事務局 電話 03-3202-8049

◆ 競技スポーツセンター指定寄付のご案内

早稲田大学の44の体育各部を統括する競技スポーツセンターの指定寄付は、支援したい「部」を指定して寄付することができます。もしくは「部」を指定されずに「競技スポーツセンター」へご寄付をいただければ、すべての体育各部の強化のために活用させていただきます。

【お問い合わせ】早稲田大学競技スポーツセンター <http://www.waseda.jp/athletic/> 電話 03-5286-3757

【最近の早稲田スポーツ情報】 ◆10月／射撃部：女子個人の部、創部以来初優勝！全日本選手権 蛭原綾乃(スポーツ科1年)／バドミントン部：優勝！全日本学生選手権大会シングルス・玉木絵里子(スポーツ科3年)／フェンシング部：優勝！全日本学生選手権女子フルーレ個人・平石典子(教3年)／スケート部：二連覇！全日本距離別選手権1500M・小田卓朗(スポーツ科1年)／軟式庭球部：世界一！世界ソフトテニス選手権大会・ダブルス中本圭哉(スポーツ4年)&菅野創世(川口市役所) ◆11月／バスケットボール部：女子、創部以来初優勝！全日本大学選手権／ラクロス部：二連覇！全国大学選手権大会／日本拳法部：創部以来初優勝！全日本学生選手権 ◆12月／庭球部：優勝！全日本大学学生選手権大会・シングルス田川翔太(教2年)・ダブルス田川翔太&遠藤豪(スポーツ科2年)

各種ランキング

●2011国家公務員採用I種合格者

出身大学別の合格者数では、昨年度同様、東京大学、京都大学に次ぐ3位でしたが、昨年度の71名から大幅に増加しました。

| | 大学名 | 合格者 |
|---|--------|-----|
| 1 | 東京大学 | 444 |
| 2 | 京都大学 | 167 |
| 3 | 早稲田大学 | 105 |
| 4 | 慶應義塾大学 | 57 |
| 5 | 東北大学 | 55 |

●2011新司法試験合格者

今年の受験者数は過去最多の8,765人。そのうち合格者は男性1,585人、女性478人でした。合格者の平均年齢は約28.5歳。合格率は23.5%。早稲田大学は合格者数では昨年度同様の5位、合格率では昨年度12位から8位に上昇しました。

| | 大学名 | 合格者(合格率) | 受験者 |
|---|--------|-------------|-----|
| 1 | 東京大学 | 210 (50.5%) | 416 |
| 2 | 中央大学 | 176 (38.2%) | 461 |
| 3 | 京都大学 | 172 (54.6%) | 315 |
| 4 | 慶應義塾大学 | 164 (48.0%) | 342 |
| 5 | 早稲田大学 | 138 (31.9%) | 432 |

* 年会費振込みのお願い*

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃 稲門会活動にご協力下さり厚くお礼申し上げます。さて、当会では、年会費として、3千円をお預りし、会の運営に当たらせていただいております。つきましては20年度 年会費お忘れの方は右記にお振込下さいます様、お願い致します。

敬具

記
年会費振込口座

埼玉りそな銀行 浦和中央支店
普通 1713087 浦和稻門会

お問合せ先 浦和稻門会事務局 金子 迂
TEL&FAX 048-861-3445